

環境ホットスポット分析(EHSA)からのご案内

2016.4.12



Japan Environmental Management
Association for Industry

一般社団法人産業環境管理協会

Copyright(C)2015 JEMAI All Rights Reserved

環境ホットスポット分析について

背景

- 欧州委員会は近年の調査結果から、現在の環境ラベルは消費者への訴求力が十分でなく、グリーン購入の推進にまだ十分な成果をあげていないことを指摘。
- また、製品ライフサイクルの環境影響を公表する環境フットプリントの実施を推奨し、制度化に向けた試行事業を20業種を対象にして開始。
- 米国では、建築（LEED）や事務機器（EPEAT）を通じて、製品等の環境影響を定量的に分析するLCAの実施をグリーン調達要件として挙げている。
- また、米国の主要120社で構成されるサステナビリティコンソーシアムは、簡易LCAを基礎としたホットスポット分析の実施を開始。成果はウォルマートのグリーン販売へと展開。
- UNEP (国連環境計画) / SETAC (環境毒物化学会) ライフサイクルイニシアティブは、ライフサイクルの中から重要な要素を抽出するホットスポット分析に注目し、分析方法の開発を開始。

- **欧米が開発するホットスポット分析手法は、日本の技術や環境条件が反映されない。**
- **環境影響の誤解と評価手法の誤用が生じると、得られた結果に対する信憑性が低下し、グリーン購入促進の障害になる懸念が生まれる。**

日本で環境ホットスポット分析のプロジェクトが開始

- 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）研究開発プロジェクト「製品ライフサイクルに立脚した環境影響評価基盤の構築と社会実装によるグリーン購入の推進」
- 平成26年10月～平成29年9月
- 伊坪徳宏氏(東京都市大学環境学部)、田原聖隆氏(産業技術総合研究所安全科学研究部門)、近藤康之氏(早稲田大学政治経済学術院)がリード

プロジェクトの目的

- 日本のLCA研究を先導する研究機関が開発した評価手法やデータベースを統合して、最新の評価技法を基礎としたホットスポット分析手法を開発。
- 100種類の製品を対象に解析し、その評価報告書を国、産業界、消費者へと発信。
- 研究成果はグリーン調達・購入のための共通基盤として活用されることが期待。

研究の流れと成果物

既存の評価手法・DB

IDEA (産総研)
(3800プロセス, 8影響領域)

WIO (早大)
(116部門, CO₂, 埋立量)

LIME (都市大, 産総研など)
(15影響領域)

【課題1】インベントリデータベース、影響評価手法の開発

本プロジェクトの成果1

上流DB

(3800プロセス, 17影響領域)

下流DB

(400部門, 17影響領域)

影響評価係数

(17影響領域)

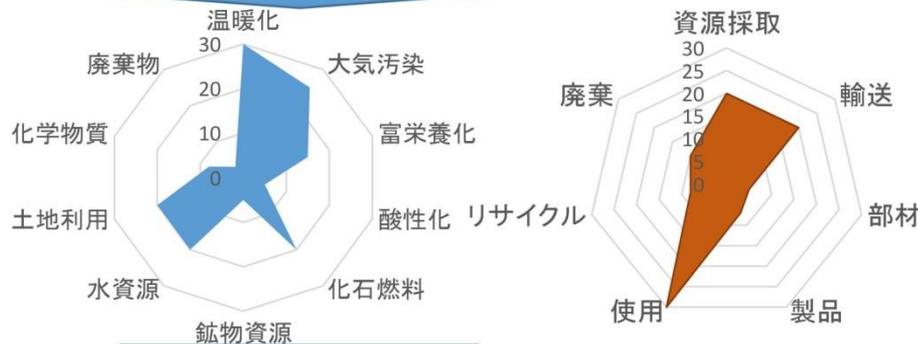
工業会ヒヤリング
シナリオ設定

【課題2】環境ホットスポット分析の実施

本プロジェクトの成果2

ホットスポット分析
結果(100製品)

紙類、文具類、オフィス家具、OA機器、携帯電話、家電製品、エアコン、温水器、照明、自動車、消火器、制服、インテリア、繊維製品、設備、備蓄用品、工事、役務から選択



研究成果の社会実装

- ・環境ラベル(エコマーク、エコリーフ)審査基準の採用
- ・改正グリーン購入法の提案

エコライフ、カーボンフットプリントのデータご提供のお願い

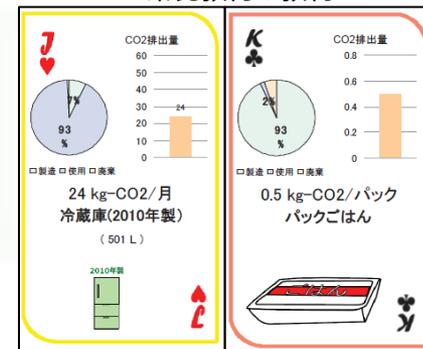
皆様が環境ラベル(エコライフ、カーボンフットプリント)の作成時に算出されたフォアグラウンドデータを活用させていただけないでしょうか。

1. ホットスポット分析：いただいたデータから算出した製品の製造段階、使用段階、廃棄段階の各段階について17影響領域で環境影響評価し、製品のライフサイクルの中でホットスポットとなるステージ及び影響領域を提示することによって、消費者や企業等のステイクホルダーに製品選択のひとつの指標として利用してもらいたいと考えています。



2. 環境教育：いただいたデータから算出した製品の製造段階、使用段階、廃棄段階の各段階のCO2排出量構成比を円グラフで表示したり、ライフサイクル全体からのCO2排出量を棒グラフで表示することによって、環境負荷量の全貌を視覚に訴える教材作りを計画しています。

環境教育の教材



- 正式依頼は後日行います。
- 募集期間：2016年4月18日～6月末日
- 送付いただきたいもの：検証申請書一式（検証済のもの）
- データのご提出やご質問先：産業技術総合研究所 安全科学研究部門 社会とLCA研究グループ
- エコラベル担当：alca-ecolabel-ml@aist.go.jp

いただいたデータは厳重に管理し、目的以外使用することはありません。
また、他機関へデータを提供することもありません。